

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 12 月 26 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・特定准教授
氏名	森村 成樹

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
コンゴ民主共和国およびウガンダ共和国	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
アフリカ大型類人猿 3 種の野生生息地とサンクチュアリでの行動調査および JSPS シンポジウム参加	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 11 月 15 日 ~ 平成 26 年 12 月 26 日 (42 日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
Francis Bukasa 所長 (CREF, DRC) および Joseph Y. T. Mugisha 教授 (Makerere Univ, Uganda)	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。          別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>京都大学熊本サンクチュアリでは、大型類人猿のチンパンジー 56 個体、ボノボ 6 個体を飼育している。動物福祉に配慮した飼育管理や研究体制を構築することを目的に、アフリカに生息する大型類人猿 3 種 (チンパンジー、ボノボ、ゴリラ) の野生生息地での行動とアフリカにあるサンクチュアリや動物園で飼育されている個体の行動について調査をおこなった。また、ウガンダ共和国で開催された日本学術振興会 (JSPS) 先端研究拠点事業シンポジウム「Ecology and Conservation of Great Ape Populations」に参加し、Chimpanzees and bonobos in Kumamoto sanctuary in Japan の演題で発表した。</p> <p>コンゴ民主共和国のワンバ村で、野生ボノボの生態および社会交渉について観察した。果実の乏しい時期だったため、ボノボは数個体からなるパーティーに分散する傾向にあった。分散しては 20 数個体の集団を形成する離合集散を頻繁に繰り返した。およそ 1 時間に 1 回の頻度で隣接するパーティーとの鳴き交わした。また半月以上集団から離れて生活する個体があり、雌が久しぶりに集団に合流する様子を観察した。また、行動比較のために、ボノボのサンクチュアリ「Lola Ya Bonobo」の飼育環境と主要な行動について調査した。</p> <p>ウガンダ共和国、カリンズ森林保護区で野生チンパンジーを観察した。採食が主要な行動で、果実のなつたイチジク属の大木を頻繁に訪れ、その間の移動は直線的だった。朝訪れた木を、午後には再び利用する行動も観察された。行動比較のため、Uganda Wildlife Education Centre と Ngamba island で飼育チンパンジーの飼育環境と主要な行動について調査した。</p> <p>ゴリラは、ブウィンディ国立公園で野生マウンテンゴリラを観察した。子供の遊び、大人のグルーミングなどの社会交渉が頻繁に観察された。飼育ゴリラについては調査しなかった。</p> <p>今後、さらにデータを詳細な分析をおこなう。その成果は、飼育チンパンジーおよびボノボの生活を向上させる福祉 (環境エンリッチメントなど) や健康管理、社会管理などの飼育管理の指針作りに応用する。</p>	
<p>■ 日程</p> <p>2014/11/15 日本出国</p> <p>2014/11/16 コンゴ共和国 (キンシャサ) 入国</p> <p>2014/11/21 ワンバ村にて野生ボノボ調査 : 20 日間</p> <p>2014/12/11 Lola Ya Bonobo (キンシャサ) にて飼育ボノボ調査 : 1 日</p> <p>2014/12/13 コンゴ共和国出国、ウガンダ共和国 (カンパラ) 入国</p> <p>2014/12/14 Uganda Wildlife Education Centre (エンテベ) にて飼育チンパンジー他調査 : 1 日</p> <p>2014/12/15 ブウィンディ国立公園にて野生マウンテンゴリラ調査 : 3 日間</p> <p>2014/12/18 JSPS 先端研究拠点事業シンポジウム「Ecology and Conservation of Great Ape Populations」</p> <p>2014/12/20 カリンズ森林保護区野生チンパンジー調査 : 4 日間</p> <p>2014/12/24 Ngamba island (エンテベ) 飼育チンパンジー調査 : 1 日</p> <p>2014/12/25 ウガンダ共和国 (エンテベ) 出国</p> <p>2014/12/26 日本帰国</p>	
<b>6. その他</b> (特記事項など)	
該当なし	